

物部法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-23 ウンピン虎ノ門ビル8階

TEL : 03-3595-1147 FAX : 03-3595-1148

令和8年4月30日

下北森林管理署
総務部 御中

牛滝ヒバ林の会主催者
物部 康雄

2327林班の森林調査簿にかかるご質問

前略

貴庁ご多忙のことと存じます。

さて、突然の書簡で恐縮ですが、私は佐井村の牛滝の石山沢西岸に広がる立派なヒバ林に興味を持っており、そこを貴署が2327林班として管理されていることから本書をお送りすることとした次第でございます。

早速ですが、以下の通り質問に入らせて頂きます。

私が東北森林管理局から入手した同林班にかかる森林調査簿によりますと、このヒバ林のヒバの樹齢は別紙のように推移しております。一見して疑問に思えますのが、昭和44年度と平成10年度の2回にわたりヒバの樹齢がその直前（5年前）の森林簿に記載された樹齢を大幅に下回っていることであります。かかることは普通には起こることではなく、何か明確な根拠・理由があつてのことと思われまので、まずはその根拠・理由をお知らせ頂きたいと思っております。なお、私の知る限りその頃に古いヒバが大量に伐採されたというようなことはなかったと思われるところであります。

又、このヒバ林に実際に入山したことのある複数の人の話によりますと、この山のヒバは樹齢が既に4百年近くになっていると思われるとのことであり、貴署の森林調査簿に記載されている130年～160年という樹齢とは大きく違っています。この点についても調査のうえでご確認をお願いしたいと思います。いずれにしろ、昭和初期の樹齢130年から100年近くたった令和5年においてもほぼ樹齢に変化がないというのは、伐採がほとんどなされていないと思われる山なのに、余りに不可解に感じられます。

こうした質問を貴署に致しますのは、東北森林管理局のホームページの記事によりま

すと、ヒバは樹齡200年～250年頃が一番木材として品質が良く伐採に適しているが、樹齡300年を超すと品質の劣化が始まり、また徐々に老木化し、樹齡500年を超すと衰弱し始め倒木の恐れが生じるされていることから、万が一貴署のこの牛滝のヒバ林にかかる森林調査簿の記載に間違いがあると取り返しのつかない事態が生じることが危惧されるからでございます。

ご多用の折に誠に恐縮ではございますが、出来るだけ速やかに調査をされ、私の誤解の指摘を含め、ご回答を頂ければと考えております。

以上、ご対応のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以上)

同封書類：森林簿における樹齡の推移一覧表